

いしづち

愛媛労災病院広報紙第17巻第2号

（通巻第84号）

2018年4月5日発行

発行人：院長 宮内文久

理念

当院は働く人々のために、そして地域の人々のために信頼される医療を目指します

基本方針

1. インフォームドコンセントの実践
2. 安全かつ良質な医療の提供
3. 勤労者医療の推進

当院では、医の倫理と病院の理念に基づいた医療を積極的に推進していくため、患者さんの基本的な『権利と責務』を、以下のように宣言します。

【患者さんの権利】

- 1) 人としての尊厳を保ちながら、良質の医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と情報提供を受け、自らの意思で治療法の決定やセカンドオピニオンを希望する権利
- 3) 個人に関するプライバシーを保護される権利

【患者さんの責務】

- 1) 疾病や医療を理解するよう努力する義務
- 2) 医療に積極的に取り組む義務
- 3) 快適な医療環境づくりに協力する義務

第4回 市民公開講座を開催いたしました!!!

詳細記事は、4頁に掲載しています。



愛媛労災病院 宮内院長とスタッフ一同



寺田新居浜市副市長



講演の様子（いまい歯科医院 今井院長）



講演の様子（愛媛労災病院 歯科口腔外科 千葉部長）

漢方薬による慢性膿皮症治療の経験	2
地域包括ケア病棟紹介	3
患者さんに誠実で、妥協のない画像提供を目指します	3

第4回 市民公開講座を開催しました	4
新任医師紹介	4

漢方薬による慢性膿皮症治療の経験

形成外科部長 黒住 望

形成外科や皮膚科で扱うことが多い慢性膿皮症は難治性で、治療に難渋することが度々です。当科では数年前より排膿散及湯という漢方薬のみでの治療を試みて良好な結果を得ています。今回はその代表例を2症例紹介させていただきます。

症例1 58才男性 左下腿慢性膿皮症。初診時：約2ヶ月前から疼痛が出現し、軽減しないため当科を受診した。



Fig.1 初診時
発赤も見られ、皮下に膿が貯留している。



Fig.2 2ヶ月後
発赤、腫張も著明に改善している。



Fig.3 5ヶ月後
炎症も更に沈静化して再発兆候はない。

症例2 50才、男性 頭部慢性膿皮症による禿髪(禿髪性毛包炎型)。過去に2度ほど某院にて切開されているが詳細は不明。



初診時
炎症性の禿髪がみとめられ、病変部の皮膚が膨隆している。



1ヶ月後
病変部はかなり平坦化し、すでにまばらながら発毛がみられる。



2ヶ月後
禿髪はかなり改善している。

慢性膿皮症は、毛包の閉塞病変などに二次的な細菌感染や、毛包破壊産物の異物反応、患者の素因もあいまって、慢性的な炎症反応や肉芽腫性炎症が長期間持続する慢性、難治性の膿瘍性疾患の総称です。好発部位は、腋窩、殿部、頭部などで、抗生剤に対する反応が少ないとされており、おのずと治療の基本は外科的な手技(切開排膿、切除、植皮など)とされています。また、漫然と抗生剤投与が続けられる症例も多いようです。当科ではこのような症例に対して漢方薬のみによる治療を行っていますが、ほとんどの症例で早期に炎症が沈静化し、長い症例で2年ほどの経過をみておりますが、現時点では再発を認めておりません。

排膿散及湯に関しては、特に東洋医学的な知識がなくても用いることが出来る方剤であると考えていますので、このような症例に遭遇された際には、一度漢方治療を試していただければ幸いです。

なお、学会誌での症例報告ではありませんので、症例や方剤の詳細、文献等については省略させていただきました。

地域包括ケア病棟紹介

南4病棟 横井由実

南4病棟は、平成28年9月より地域包括ケア病棟として稼動しています。在宅退院を目指しリハビリを継続される方や、施設へ調整を行い退院される方など様々ですが、ケアマネジャー、MSW、理学療法士と日々連携をとりながら、患者さんやご家族の意向に沿った退院支援を行っています。必要な患者さんには、退院前に自宅訪問し、退院後はその人らしく過ごせているか話し合っています。



また、平成29年9月からは、認知症患者の症状悪化防止やレスパイト入院患者のADL低下防止の目的で院内デイケアを始めました。1日約

20人の患者さんが参加をしています。内容は、100歳体操・タオル体操・その日のレクリエーションを行っています。レクリエーションでは、風船パレーやズンドコ節に合わせた体操、脳トレーニングなどを行っています。スタッフも一緒に手本となって体操しながら、患者さんもすぐ覚えて体操できるようになります。表情が乏しかった患者

さんや動きが緩慢であった患者さんが、笑顔で体操ができるようになったり、脳トレーニングでクイズに答えようとする様子を見ると、私たちスタッフも笑顔になります。さらに食事前には嚥下体操も実施しています。言語聴覚士から研修を受け、南4病棟で嚥下体操のDVDを作成しました。誤嚥性肺炎やインフルエンザの予防につながっています。



これからも、多職種と連携を密に行い、その人らしく過ごせる退院支援を目指していきます。



患者さんに誠実で、妥協のない画像提供を目指します

中央放射線部 巻幡弘

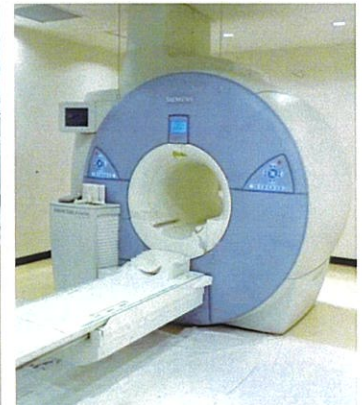
放射線科は、1名の放射線科医師、10名の診療放射線技師、1名の事務員の計12名の職場です。早期診断、早期治療に役立つ様々な検査画像を、医師と緊密に連携し迅速かつ丁寧に提供しており、画像診断管理加算2の施設基準も取得しています。また、『患者さんをお待たせしない』をモットーに、CT検査 MRI検査は飛び入り検査を当日100%実施、待ち日数ゼロを目指しています。加えて、治療と就労の両立支援において、検査のために仕事を休まなくても良いように、CT検査、MRI検査は、平日19時まで時間を延長して行っております。

我々は、これからもこれまで以上に、最新

の医療技術を駆使して、地域住民の皆様のご期待に沿えるよう努力して参る所存であります。



東芝64列CT



シーメンス1.5T MRI

第4回 市民公開講座を開催しました テーマは「口から考える健康」です!!!

広報委員会 スタッフ一同

「新居浜の医療を考えよう」、「災害医療について」、「地域の医療・介護を考える」、愛媛労災病院はさまざまなテーマをとりあげ、市民公開講座を開催しております。第4回目となる今回は、医療の原点に立ち帰り、個人一人一人の健康をもう一度見つめなおすこととしました。そこで、今回取り上げたテーマは「口から考える健康」です。

近年、口腔内細菌と誤嚥性肺炎、感染性心内膜炎等の全身疾患との関連が明らかとなり、口腔管理の重要性が注目されてきました。

そこで、今回の市民公開講座においては、「口腔ケア」の重要性と、歯磨きによって全身の健康を守るという「予防ケア」の視点から、当院の歯科口腔外科医師・歯科衛生士・内科医師・NST専門療法士・言語聴覚士が講演を行いました。

第Ⅰ部講演では、当院歯科口腔外科部長千葉晃義による、歯周病と全身のかかわりをテーマとした講演を、第二内科部長 山田耕司による、歯周病と糖尿病とのかかわりをテーマとした講演を、そして当院歯科衛生士4名による、口のマッサージ等の実演をいたしました。続く第Ⅱ部では、いまい歯科医院 今井洋一院長をお迎えし、在宅や施設における口腔

ケアの現状についてご講演をいただきました。また、当院NST専門療法士である加地玲子より、いつまでも若々しく過ごすための、口からはじめるアンチエイジングについての講演を、最後に当院言語聴覚士である野村裕子より、口から安全に食べ続けるための「ムセない体づくり」についての講演をいたしました。

講演後、歯周病はとてもこわい病気だと分かった、歯科の「在宅診療」があるとは初めて知った、口腔ケアと健康寿命の関わり的重要性がよく分かった、といったご意見を多数いただきました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回も昨年度に引き続き、地域の皆様には広報の面でご協力いただきまして、本当にありがとうございました。また、当日もお天気がすぐれない中での開催となりご迷惑をおかけしたことと思います。ご参加いただきました皆様、共催をいただきました新居浜市及びご講演いただきました皆様にはこの場をお借りし、深く感謝申し上げます。

これからも、愛媛労災病院は皆様のそばで、健康を守るお手伝いをさせていただきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

新任医師紹介

かわ かみ やす ひろ
川 上 泰 広

診療科：整形外科
経験年数：10年目
専門分野：整形外科一般
趣味：スポーツ観賞

コメント：

初めまして、この度は山口労災病院より赴任してきました。整形外科でも特に脊椎脊髄の分野を担当しています。少しでもお役立ちできるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。

まつ もと ゆい
松 本 唯

診療科：産婦人科
経験年数：3年目
専門分野：産婦人科全般
趣味：旅行、バドミントン

コメント：

婦人科で勤務させていただくことになりました、松本です。初期研修2年間は松山市民病院に勤めておりました。様々な科をローテートして、分娩管理や出産に携わりたいと思い産婦人科を専攻しました。これから新居浜での生活で、たくさんの人と関わっていききたいなと思っています。よろしくお願い致します。